

関西現代音楽交流協会 (KMMA)

# 第42回現代音楽作品の夕べ

2011年12月10日(土) 16:00 開演(15:30開場) トントレフ・ヒコ

主催：関西現代音楽交流協会

後援：大阪音楽大学

大阪音楽大学同窓会《幸楽会》

日本女性作曲家連盟

協力：トントレフ・ヒコ

演奏会終了後、小パーティーがございます。  
どなたでもご参加いただけます。お気軽にご参加ください。

## ご挨拶

一般的に「現代音楽」の定義は非常に曖昧なのですが、多くの場合20世紀後半から現在までに「前衛的な視点」で書かれた音楽を指すことが多いようです。

「前衛的な視点」の最も顕著な特徴は、調性を否定し不協和音を多用していることでしょう。調性を否定した音楽は、人生を深く思索するような表現には向いており、逆に楽しさや安らぎなどを表現することにはあまり向かないのかもしれませんが。そのためか、これまで現代音楽のジャンルでは、哲学的・思索的なものを追求した作品が数多く作曲されてきました。

1980年頃までは、このような現代音楽の演奏会はかなり頻繁に催されておりました。もう多くの方には忘れ去られことかもしれませんが、1970年大阪で催された万国博覧会では現代音楽のパビリオンが出展され、そこには未来の音楽を求めた多くの来館者がありました。「今は不協和や不自然に感じられても、聴き慣れると音への感受性が変化し、やがて心奥に響く音楽に変遷する」ものだと多くの作曲家や音楽ファンが無邪気に(?)信じ、これからも現代音楽の隆盛が続くことを疑わない幸せな時代でありました。

しかしその後「難解」「暗い」「知識や教養をひけらかしているだけのスノビズム」といった批判が次第に強くなり、やがて音楽ファンから敬遠され支持を失っていったことは皆さんもよくご存じのとおりです。私たちの会が、4年余りもの間休会した最大の原因も、やはり「聴衆の減少」でした。

現代音楽にも名曲は数多くあります。それにも関わらず、このように聴衆からの共感を得られなくなった理由としては、以下のような事が考えられるのかもしれませんが。

①音楽ファンは、音楽から哲学的・思索的なものだけではなく、明るさや楽しさ・安らぎなども求めている。

②深い思索はなくても、調性を否定し不協和音を多用しリズムを不規則にすると、それだけで哲学的に聞こえてしまうという場合もあり、優れた作品とそうでない物の見分けがつきにくくなっていった。

③「現代音楽を理解できる者だけが聴いてくれれば良い」といった、ともすれば傲慢な姿勢も作曲家にはあったのかもしれない。

このようにしてこれまで現代音楽が衰退してきた半世紀あまりの歴史、そしてその中で関西現代音楽交流協会が歩んできた25年間を、私たちはしっかり受け止めなければならないと思います。幸い近年、私たちの会には多くの若い作曲家・演奏家たちが入会し、積極的な活動をし始めています。若い会員たちの活躍によって会全体が活力を得て、この数年間は勢いある演奏会を続けることができてきました。

私たちは聴きに来てくださった方々と「一緒に喜びを分かち合う」という気持ちを強く持って、演奏会を開催し続けたいと思います。聴いていただくことが何よりの励みとなります。どうぞこれからも私たちの活動を応援してくださいませようお願いいたします。

関西現代音楽交流協会委員長  
大澤弘之

## プログラム

中瀬 俊介 作曲

愛しのベス

サククス：中村由布子 ピアノ：安原将生

クローデル・カミュの爲の哀歌

サククス：中村由布子 コントラバス：安原将生  
ピアノ：中瀬俊介

内藤 正彦 作曲

レテ ～忘却の河～

ヴァイオリン：時本さなえ ピアノ：村上優

今井 飛鳥 作曲

バルーン

ソプラノ：石川貴子 ピアノ：今井飛鳥

シュエルシ 作曲

クラリネットとフルートの為のK o - L h o

クラリネット：古賀喜比古 フルート：大升良美

=休憩=

三善 有希乃 作曲

希望に満ちた星

フルート：高城克枝 クラリネット：有澤亜美  
トロンボーン：福原誠也 ピアノ：三善有希乃

ブイターシュ 作曲

ピアノ独奏のための2つの相反する楽章

ピアノ：村上優

バルトーク 作曲

ヴァイオリンとピアノの為のソナタ第1番より第1楽章

ヴァイオリン：時本さなえ ピアノ：村上優

マントヴァーニ 作曲

無の時代

フルート：大升良美 クラリネット：古賀喜比古  
ピアノ：中田百合子

**作曲：中瀬 俊介 NAKASE Shunsuke** (作曲家会員 出品)

### ◆ 愛しのベス

フリージャズの世界をお楽しみ下さい。

「生と死、は一体であり  
男女は異質であるがゆえに一体である」  
岡本太郎

#### <作曲：中瀬俊介 (なかせ しゅんすけ) >

大阪府出身。大阪音楽大学短期大学部作曲科卒業。作曲を田中邦彦、近藤圭の両氏に師事。ジャズピアノを安原将生氏に師事。現代音楽とフリージャズの接点を追求するが、道を見失う…。京都グリニッジハウス、十三ヘブンズカフェなどでライブ活動中。四年前突然絵を描きはじめ、平成 21 年尼崎市展、56 回吹田市展、第 20 回サクラ全日本アートサロン展、関西日曜画家展 (オーディエンス賞) 以上に入選。絵のほう忙しい今日この頃。ますます 迷路に入り込む。

#### <サクソ：中村由布子 (なかむら ゆうこ) >

兵庫県立兵庫高等学校卒業、現在大阪音楽大学 4 回生。サクソフォンを荒崎英一郎、石田智子、井上麻子、西本淳各氏に師事。第 24 回ミレニアム・スチューデント・コンサート出演。アマチュア音楽コンクール金賞受賞。

#### <ピアノ：安原将生 (やすはら まさき) >

京都府出身。京都のライブハウスで活躍中。キャンデイ、ルクラブ、ラグ、ブルーノート(京都)など出演多数。グリニッジハウスなどで後進を多数育成。年に一回祇園祭の夜に催される「コルトレーンナイト」は好評を博している。

### ◆ クローデル・カミュの爲の哀歌

ロダンの恋人クローデルは、その才能をロダンに打ち砕かれてしまうが、ロダンを越える才能を感じさせ凄惨な迫力で我々に迫ってきます。  
近年彼女の見直しがはじまっています。

#### <作曲、ピアノ：中瀬俊介 (なかせ しゅんすけ) >

#### <サクソ：中村由布子 (なかむら ゆうこ) >

#### <コントラバス：安原将生 (やすはら まさき) >

**作曲：内藤 正彦 NAITO Masahiko** (作曲家会員 出品)

### ◆ レテ～忘却の河～

この曲は「忘却」あるいは「隠匿」をテーマに作られています。

冒頭の5度上行によるテーマはト調を思わせながらも、その印象はすぐに忘れられ、ホ調ともイ調とも確定できない旋律が流れていきます。また、各フレーズの冒頭や終止の部分でも、長・短調を確定する為の音が意図的に抜けているので、フレーズ毎もしくは全体の調性が隠されています。

曲は、その5度上行の音型が全曲を支配し、中間部では3度のより狭い音程で何かを訴えるようなテーマが現れ、5度上行の音型と重なり合って発展します。

#### 【曲名について】

レテ (Lethe) とは、古代ギリシャ語で「忘却」あるいは「隠匿」を意味します。

ギリシャ神話でのレテは、黄泉の国にいくつかある河の一つであり、ヒュプノス (眠り) とタナトス (死) の女兄弟でもあります。レテは忘却の河で、その水を飲むと、生きていたときのことをすべて忘れてしまいますが、同じように忘れることは出来ても、「眠り」はすぐに目覚め、「死」はそれきり現実に戻っては来れません。

ギリシャ神話では、生物が生まれ変わる際に前世の記憶がなくなるのは、この河の水を飲むためと信じられています。

### <作曲：内藤正彦（ないとう まさひこ）>

大阪音楽大学短期大学部専攻科作曲専攻卒業。  
作曲を田中邦彦、景山伸夫、藤島昌壽氏に師事。  
平成二十二年度関西現代音楽交流協会作曲賞受賞。  
関西現代音楽交流協会会員。

### <ヴァイオリン：時本さなえ（ときもと さなえ）>

神戸山手女子高等学校音楽科を経て大阪教育大学芸術専攻音楽コース、同大学大学院芸術文化専攻音楽表現コースに学ぶ。学部4年生の時、大阪教育大学オーケストラとブルッフのヴァイオリンコンチェルトを共演。2004年、第9回高槻音楽コンクール一般の部第2位。2007年、第1回東京サミット音楽コンクール入選。2011年、第12回大阪国際音楽コンクールアーリーミュージック部門第3位。2007年9月より1年間ハンガリー国立リスト音楽院で学ぶ。留学期間中、弦楽四重奏の一員として「ブダペスト春の音楽祭」での「室内楽の夕べ」に出演。旧リスト音楽院、室内楽ホールにてジョイントリサイタルを行う。2008年、「翼の会」支援の下、奈良女子大学佐保会館にて帰国コンサートを開く。2009年、V・サバディ氏とのジョイントコンサートにて共演。2011年、インドネシア、ジョグジャカルタでの室内楽フェスティバルでゲスト出演。これまでにスイス、シオンにてI・ギトリス氏の、岐阜にてV・サバディ氏のヴァイオリンマスタークラスを、山梨にて渡邊慶子氏の、ハンガリーショプロンにてS・スタンデージ氏のバロックヴァイオリンのマスタークラスを、姫路にて上田晴子氏の室内楽のマスタークラスを受講。これまでに永見信久、稲垣琢磨、V・サバディ、木田雅子氏らにヴァイオリンを、K・ボトヴァイ氏に室内楽を、渡邊慶子氏にバロックヴァイオリンを師事。現在は関西を中心に、時々鳥取でも音楽活動をしていて、後進の指導も積極的に行っている。

### <ピアノ：村上優（むらかみ ゆう）>

大阪教育大学教育学部芸術専攻音楽コース卒業後、ハンガリー国立リスト音楽院に留学。2005年イタリアバルレッタ市国際コンクール第1位、併せてアジア人最優秀として”ムジカ・アジア特別賞”、バルレッタ市特別賞受賞。これまでに、ハンガリー国立交響楽団コンサートマスターを始め、ハンガリーオペラ座交響楽団メンバー、ハンガリー放送交響楽団、リスト音楽院教授と共演し、大使館を始め、全国各地において、また、ハンガリー、ドイツ、イタリア、インドネシアなど国外でも演奏活動を行う。これまでにピアノをファルヴァイ・シャーンドル、グヤーシュ・イシュトヴァーン、志賀美津夫、福原千織、島川香織の各氏、室内楽をバンレヴィー・アントル、デュオハヤシ、久合田緑の各氏に師事。畿央大学・大阪府立池田北高等学校非常勤講師、京都音楽院講師、日本クラシック音楽コンクール審査員。

**作曲：今井 飛鳥 IMAI Asuka** (作曲家会員 出品)

### ◆ バルーン

漫画や小説がアニメ化やドラマ化されたときにわたしはまず登場人物たちの声が気になる。それまで自分が耳の内側で響かせていた声と外から聞こえてきた他人の声があまりにも違っているのではじめは気持ち悪くてしょうがない。なのに、いつの間にか単純なわたしの耳はその声をその人物の声として認識するようになり、次に漫画や小説を読むときは、その新しい声がわたしの中で響き出す。

「慣れ」とは恐ろしいもので、はじめからそうであったような、また「なんとなく」それでいいような気にわたしをさせる。はじめはもっとぎくしゃくしていたはずなのに、いつの間にかその感覚を忘れてしまう。

新鮮な出会いが続くような、繰り返し聞いても耳に馴染まないような、耳が躓くような曲を書きたい。

### <作曲、ピアノ：今井 飛鳥 (いまい あすか) >

1984年、京都府生まれ。大阪音楽大学音楽学部作曲学科作曲専攻卒業。卒業時、大阪音楽大学優秀賞受賞。同大学大学院音楽研究科作曲専攻修士課程修了。在学中は作曲を乾堯、久保洋子、近藤圭の各氏に師事。ピアノを竹中啓子氏に師事。いまは鈴木治行氏のもとで研鑽を積んでいる。

### <ソプラノ：石川貴子 (いしかわ たかこ) >

国立島根大学教育学部音楽研究室声楽専攻卒業。卒業演奏会出演。翌年、履修生修了。在籍中に、ウィーン宮廷歌手クルト・エクヴィルツ氏の個人レッスンを受講。また、県民文化ファンド主催事業のミュージカル音楽指導に携わり、愛地球博 EXPO2005 での「愛と地球と競売人」公演にも関わる。その他、地元コーラスの指導などをきっかけに、地元のラジオに出演など多角的に活動。2004年より京都を中心に、演奏活動を始める。随心院ミニコンサート・京都府庁「秋の音楽会」・子供のためのクリスマスコンサート・姉小路行灯会などに出演。2010年には中国・内モンゴル自治区にて、日中文化交流会にて演奏し、高い評価を受ける。近藤千代・吉田功・浅井順子の各氏に師事。



## 作曲：シェルシ GIACINTO Scelsi

### ◆ クラリネットとフルートの為の Ko-Lho

GIACINTO Scelsi

1905年 イタリア生まれ。

彼の作風の特徴としては、一つの音の倍音成分を聞き込むような語法で「一つの音の為の習作」といわれています。今日演奏する fl と cl の為の ko-lho は 1966 年に作曲されたものです。

#### <クラリネット：古賀喜比古（こが よしひこ）>

ベルギー王立リエージュ音楽院修了。クラリネットをい岩尾真治、福井聡、R. マレリス、J. P. プビヨン、金井信之の各氏に師事。

現在、奈良県高円高校、ESA 音楽学院非常勤講師。

#### <フルート：大升良美（おおます よしみ）>

愛知県立芸術大学音楽学部器楽科卒業。名古屋笛の会主催新人演奏会、コン・アニマ主催新人演奏会、定期演奏会等に出演。M. ラリュー、P. アランコ、C. ベンソン各氏のマスタークラス受講。フルートを保坂真弓、榎田雅祥、長山慶子、寺本義明、伊藤公一の各氏に師事。06、07 年中部日本吹奏楽コンクール滋賀県大会の審査員を務める。09 年第二回 jfos フルートアンサンブルコンクールに於いて優秀賞受賞。平成 23 年度関西現代音楽交流協会演奏賞受賞。現在クラシックのみならず、女性ボーカリスト“HWASE★ファゼ”のバックサポーターを務めるなど、ジャンルを問わず幅広く活動している。また、自身が主催する音楽教室の他に、中学校、高等学校、音楽教室において後進の指導にもあたっている。ランコントロールフルートカルテット、ウィンドオーケストラエスペランサ「希」各メンバー。日本フルート協会会員、関西現代音楽交流協会役員。

**作曲：三善 有希乃 MIYOSI Yukino** (作曲家会員 出品)

◆ **希望に満ちた星 ～The hopeful Star～**

この曲は「星をめざして」という絵本よりインスパイアしました♪  
ほのぼのと温かみのある絵で、ある一人の少年が生まれて物心ついた頃からの自分の進むべき道を迷いながら、でも希望の星に向かって歩いていく（人生の旅）物語です。  
物語風に各楽器を当てはめ、展開部では日常の生活感のある音階や中心音の揺れ、そして3拍子で希望の音楽（星の声）が聞こえ、発展的にしました。

<作曲、ピアノ：三善有希乃（みよし ゆきの）>

神戸山手女子高等学校<音楽科>作曲専攻を経て、大阪音楽大学作曲学科卒業。作曲を中西覚、中西あかね、門田展弥、田中邦彦の各氏に師事。主な作品に「大地のリズム」for マリンバ&カホン&ピアノなど。出版楽譜にひょうご日本歌曲の会より歌曲集「新しい日本の歌 1」より、青い星・スマイル人生・花になる時。同じく歌曲集「新しい日本の歌 2」より、宙のオーラ・羽根のように・青銅の壺。現在新響楽器にてピアノ・エレクトーン・作曲を指導。YAMAHA JET 講師。関西現代音楽交流協会・ひょうご日本歌曲の会・日本女性作曲家連盟各会員。

**<フルート：高城克枝（たかぎ かつえ）>**

9歳よりピッコロ 12歳よりフルートを始め、広島音楽高等学校を経て大阪音楽大学音楽学部器楽科フルート専攻卒業。フルートを菊地洋子、竹本博、榎田雅祥、山腰直弘各氏に師事。クリスチャン・ラルデ氏の公開レッスン受講。第4回フルートコンベンションコンクールアンサンブル部門にて銀賞を受賞。新人演奏会、宝塚ベガフレッシュコンサート、広島幸楽会演奏会、中国北京に於いて日中文化交流会「華の会」等に出演。ヤマハデジタルサウンドに於いて倉本祐基と共演。いずみホールにてジョイントリサイタルを開催。1989年～2001年、フルートアンサンブル「エリオ」のメンバーとして活動。MBS毎日放送「加藤ヒロユキの週末のソムリエ」出演。現在「加藤ヒロユキの音楽のソムリエ」にフルーティ高城として出演中。演奏家グループ「四月会」のメンバー、また各種コンサートをはじめ、ディナーショーに出演する等多方面に亘って活動を繰り広げている。雲雀丘学園小学校課外フルート講師。川西音楽家協会会員。

**<クラリネット：有澤亜美（ありさわ あみ）>**

1989年5月31日生まれ AB型  
現在 大阪音楽大学 器楽学科 三回生

**<トロンボーン：福原誠也（ふくはら せいや）>**

大阪音楽大学音楽学部器楽学科 トロンボーン専攻 現在2回生  
地元(兵庫県川辺郡猪名川町)でトロンボーンカルテット“いなぼん”を結成しさまざまなイベントで活動中また、ビッグバンドの池田 JAZZ オーケストラのメンバー。トロンボーンを 呉 信一氏に師事。

## 作曲：ブイターシュ Bujtás József

### ◆ ピアノ独奏のための2つの相反する楽章

#### I 無限の感覚

#### II からかい（あざけり遊び） —ふざけた、されど騒々しく荒っぽい踊り—

ブイターシュ・ヨーゼフ氏は、1947年生まれの存命のハンガリー人作曲家。ソコライ・シャンドル、エンドレ・セーケイ各氏らに師事し、ハンガリー国立リスト音楽院を卒業し、ペトロヴィッチ・エミュ賞を受賞。

私がブイターシュ氏と出会ったのは、2005年、ハンガリーでの現代音楽コンサートにおいてでした。作品を聴き、ぜひブイターシュ氏の作品を演奏したいと思い、会場にいらっしゃったブイターシュ氏に声をかけました。それから、機会がある度にハンガリーや日本で氏の作品を演奏しています。帰国した後に再度ハンガリーに行ったときには再会をととても喜んでくれ、ロシュマンというお店で「好きなものを買いなさい」と、断る私を尻目にいろいろと買い物かごに入れます。ロシュマンは、日本で言えばドラッグストアのような感じのお店で、私はロウソクやらマグカップやら入ったレジ袋を手にしたされました。そんなお茶目なところもある氏に親しみを感じながらもとても尊敬しています。

ブイターシュ氏の作品は、不協和音の中にも品位をたたえ、また、ハンガリー音楽らしいリズムや響きが一貫して流れます。

#### I 無限の感覚

～ブイターシュ氏の手紙より～「“A mindeséggel mérd magad!”（ハンガリーの諺。“世界で我を測れ！”日本の諺では、“井の中の蛙、大海を知らず”にあたります。）この諺から私は孤独と宇宙の音や、無限性を感じます。この小曲は、こうした思いから書いたものです。小規模とはいえ、コントラストがあり、始めの優れた部分の後、小終止が中間部を誘導し、その後、変化をした再現部となります。3部構成。」

#### II からかい（あざけり遊び） —ふざけた、されど騒々しく荒っぽい踊り—

I（無限の感覚）では自分の外へ向けての広がりを表したのに対し、IIでは自分の内面へと視点が変わります。人間が持ついじわるな面やいけずな面を面白おかしく一つ一つの音に乗せていく…。そんな感情にも愛着がわいてくる曲。

<ピアノ：村上優（むらかみ ゆう）>

P7参照

## 作曲：バルトーク Bartók Béla

### ◆ ヴァイオリンとピアノの為のソナタ第1番より第1楽章

バルトーク・ベーラ（1881－1945）の作品の特徴として、いくつかの重要なポイントがあります。まず一番重要なのは、ハンガリー及び周辺諸国の民謡を作品の素材にしている、という点。そして作曲形式自体は古典的様式を踏んでいる点、彼の生きた時代が混乱を極めた20世紀初頭であったという点、彼自身が才能あるピアニストであった点、そしてこのソナタに関しては特に重要である、彼の周りに優秀なヴァイオリニストの友人が何人もいた点が挙げられます。この作品は、バルトークの友人である女流ヴァイオリン奏者、イエリイ・ダラーニに献呈されました。彼は、イエリイとの共演を見越して作曲し、実際にその共演は大成功だったようです。妖艶で、難曲で、かつ美しいこの音楽の世界に、バルトークが自身のピアノ演奏を使って才能ある若き女流ヴァイオリニストを翻弄するという、屈折した意図がこの作品に見られます。

ところどころ非常に前衛的な、ともすれば破壊的な響きが現れる箇所もありますが、この美しいバルトークの独特の世界を堪能していただければ幸いです。

＜ヴァイオリン：時本さなえ（ときもと さなえ）＞

P 7 参照

＜ピアノ：村上優（むらかみ ゆう）＞

P 7 参照

## 作曲：マントヴァーニ Bruno MANTOVANI

### ◆ 無の時代

ブルーノ・マントヴァーニ（1974年生まれのフランスの現代音楽作曲家）は、1993年パリ国立高等音楽・舞踏学校に進み、ガイ・ラベルから作曲を、アラン・ポワリエから音楽史を、アラン・ルヴィエからアナリーゼを、ロラン・キュニオから電子音響音楽を、ジャック・シャルパンティエから管弦楽法を学んだ。フランス政府などから作品の委嘱も受けている。2010年より、36歳という異例の若さでパリ国立高等音楽・舞踏学校の院長に就任した。今日演奏する「無の時代（L'ère de rien）」は2002年の作品。曲はフルートとクラリネットの劇的な二重奏で始まり、やがてピアノが入って一気に盛り上がっていくものの、やがて静寂がやってくる。そしてフルートとクラリネットのロングトーンでの掛け合いが始まり、ゆっくりと激しさを増し、クライマックスを向かえる。それぞれの楽器との絡み、微分音でのハーモニー、起伏の激しさが曲の魅力である。（約9分）

<フルート：大升良美（おおます よしみ）>

P 7 参照

<クラリネット：古賀喜比古（こが よしひこ）>

P 7 参照

<ピアノ：中田百合子（なかた ゆりこ）>

大阪音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業後渡仏。フランス国立モンペリエ音楽院マスターコース修了。パリ・エコールノルマル音楽院にてピアノと室内楽の高等ディプロムを取得。大阪音楽大学卒業演奏会、大学新卒推薦演奏会「フレッシュコンサート」、第7回宝塚ベガ新人演奏会等に出演。第6回 Grand prix national jeunes talents(仏)に於いて、審査員満場一致グランプリ獲得。同年、アマデウス音楽院に招聘され、モンロン・レ・バン市にてリサイタル開催。第10回ロヴェーレ・ドーロ国際コンクール(伊)ピアノソリスト部門第4位。第8回フランス音楽コンクール優秀賞受賞。'00年、手塚幸紀指揮オペラハウス管弦楽団、'06年、金洪才指揮アルカディア室内管弦楽団と共演。これまでに、ピアノを福井達子、中尾園子、永井譲、井澤利、P.ジグマノフスキー、B.カプランの各氏に、室内楽をM.デセニエ、Ch.ドビュッシーの各氏に師事。関西を中心に、各地でリサイタルやジョイントコンサートに多数出演。また伴奏、室内楽の分野で活動する傍ら、後進の指導にもあたっている。全日本演奏家協会、東京国際芸術協会、関西現代音楽交流協会、各会員。新響楽器ピアノ科講師。

### 【関西現代音楽交流協会について】

関西現代音楽交流協会は現代音楽を志す人達の交流の環を広げ、その活動を活性化することにより音楽文化の普及と発展に寄与することを目的として1986年に設立されました。

作品発表と演奏活動の場である「現代音楽作品の夕べ」は今回までに42回主催してきました。

現在（2011年12月）の会員数は72名（作曲会員38名・演奏会員34名）となっております。

公式ホームページ <http://kmma.web.fc2.com/>

### 【会員募集】

関西現代音楽交流協会では現在会員を募集しています。会員の推薦があれば作曲・演奏家を問いません。

入会すると本会が主催する演奏会に出品・出展することができます。

ご関心のある方は、本演奏会終了後のレセプションにて会員までお問い合わせください。